

詩篇 119 篇シリーズ パート 6

119:121 私は公正と義とを行いました。私をしいたげる者どもに私をゆだねないでください。
119:122 あなたのしもべの幸いの保証人となってください。高ぶる者どもが私をしいたげないよう
にしてください。119:123 私の目は、あなたの救いと、あなたの義のことばとを慕って絶え入るばかりです。
119:124 あなたの恵みによってあなたのしもべをあしらってください。私にあなたのおきてを教えてください。
119:125 私はあなたのしもべです。私に悟りを授けてください。そうすれば私は、あなたのさとしを知るでしょう。
119:126 今こそ【主】が事をなさる時です。彼らはあなたのおしえを破りました。119:127 それゆえ、私は、金よりも、
純金よりも、あなたの仰せを愛します。119:128 それゆえ私は、すべてのことについて、あなたの戒めを正しいとします。
私は偽りの道をことごとく憎みます。119:129 あなたのさとしは奇しく、それゆえ、私のたましいはそれを守ります。
119:130 みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまのない者に悟りを与えます。119:131 私は口を大きくあけて、
あえぎました。あなたの仰せを愛したからです。119:132 御名を愛する者たちのためにあなたが決めておられるように、
私に御顔を向け、私をあわれんでください。119:133 あなたのみにことばによって、私の歩みを確かにし、
どんな罪にも私を支配させないでください。119:134 私を人のしいたげから贖い出し、私があなたの戒めを守れるようにしてください。
119:135 御顔をあなたのしもべの上に照り輝かし、あなたのおきてを教えてください。119:136 私の目から涙が川のように流れます。
彼らがあなたのみおしえを守らないからです。119:137 【主】よ。あなたは正しくあられます。あなたのさばきはまっすぐです。
119:138 あなたの仰せられるさとしは、なんと正しく、なんと真実なことでしょう。119:139 私の熱心は私を滅ぼし尽くしてしまいました。
私の敵があなたのことばを忘れているからです。119:140 あなたのみにことばは、よく練られていて、あなたのしもべは、それを愛しています。
119:141 私はつまらない者で、さげすまれています。しかし、あなたの戒めを忘れてはいません。119:142 あなたの義は、永遠の義、
あなたのみおしえは、まことです。119:143 苦難と窮乏とが私に襲いかかっています。しかしあなたの仰せは、私の喜びです。
119:144 あなたのさとしは、とこしえに義です。私に悟りを与えて、私を生かしてください。

はじめに

このシリーズもいよいよ終盤です。あと一回の説教で終わられるでしょう。

この詩篇を学ぶことは励ましを得る旅のようでしたね。

また同時に、課題を突きつけられる旅でもありました。それは、神の御言葉とその応用に直接的に注目させられたからです。私たちの抱える問題が何であれ、神の御言葉に私たちの心配事の解決策があります。

今日学ぶ聖句には、3つのヘブライ語アルファベットがあります。

“Ayin”(アイン), “Pe (ペー) “and “Tsadde(ツァディ)”です。

1. Ayin(アイン)-神の保証 (121-128 節)

この詩篇では初めて「しいたげる者」「しいたげ」という言葉が登場します。

この言葉は権力や権威の乱用を意味します。

つまり、暴力や偽りによって、弱い立場の人々をだますことです。

神はご自分の民であるユダヤの民に、互いにしいたげることのないようにと命じられました (レビ記 25:14&17、申命記 24:5-22)。

またこの命令は異邦人への対応をも含みました (出エジプト 22:2、23:9)。

神の民が弾圧を受けながら、罪を犯す者がその罪を問われないことはよくあることです。世界中のイスラム教国家では、多くのクリスチャンが迫害や拷問を受け、飢餓に苦しんでいます。これは非常に悲しいことです。

こういったことが起こった時、聖書の神が困難な状況において神の民のために何をされるかを思い出す必要があります。

神は神の民のための保証人である(121-122 節)

英語の NIV 訳聖書は "surety(保証人)" という単語を使っていませんが、欽定訳(KJV)と新アメリカ標準訳(NASB)はこの単語を使っています。

ですから、この言葉を理解することは非常に重要です。

当時、保証人になるとしたら、他人の借金を払ったり、約束を果たしたりすることを誓うときでした。

創世記の 37 章から 45 章にあるヨセフと兄弟たちの話を覚えていますか。

ヤコブが、食糧のために末っ子のベニヤミンが兄たちと一緒にエジプトに行くことを拒否したとき、進んで末っ子の弟のために保証人になったのはユダでした。

(創世記 43:1-10、44:18-34)。

聖書では、友人の借金の保証人になることは禁じられています。自分にとって大きすぎる重荷を背負うことになるかもしれないからです。

(箴言 11:15、17:18、22:26-27)

しかし、神の御子イエスが、彼に信頼する者のために保証人となられたことは、非常に良い知らせです。

ヘブル 7:22 「7:22 そのようにして、イエスは、さらにすぐれた契約の保証となられたのです。」

十字架の死によって、イエスは私たちの罪の代価を支払ってくださいました。

イエスは今日も生きておられ、天から私たちのためにとりなしの務めを果たしておられます。イエスは私たちの生ける保証人です。

イエスが生きている限り、私たちの救いは確実なのです。

ヘブル 7: 16 には、イエスは朽ちることのないいのちの力によって生きているとあります。

詩篇の著者は、自分の身に何が起ころうとも、神が自分の保証人であることを確信していました。

もし、神の家族の中であって、イエスを信頼しているなら、イエスご自身が私たちの救いに責任をもってくださっています。

イエスは私たちを決して裏切らない、私たちの保証人です。

神は私たちの主人であり、私たちはそのしもべである (123-125 節)

誰かが私たちを攻撃するなら、私たちが仕える神をも攻撃していることとなります。このことは使徒 9:1-5 でわかります。

使徒 9:1-5 「9:1 さてサウロは、なおも主の弟子たちに対する脅かしと殺害の意に燃えて、大祭司のところに行き、9:2 ダマスコの諸会堂あての手紙を書いてくれるよう頼んだ。それは、この道の者であれば男でも女でも、見つけ次第縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。9:3 ところが、道を進んで行って、ダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼を巡り照らした。9:4 彼は地に倒れて、「サウロ、サウロ。なぜわたしを迫害するのか」という声を聞いた。9:5 彼が、「主よ。あなたはどなたですか」と言うと、お答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。」

詩篇の著者は 3 回、自分が神のしもべであることに言及しています。

神はご自分のしもべを大切にされます。

神は私たちがしたいげられるのをいつも防がれるわけではありませんが、神はいつもそれが起こることを許される良い理由をお持ちです。

いつも私たちがその時に理由を見出すわけではないでしょう。何年も経ってから分かることもあります。

あるクリスチャン作家がこのように言っています。

「神のしもべは説明によって生きるのではない、約束で生きるのだ。」

神は最後の審判者である (126-128 節)

この部分で著者は、神が行動を起こされる時が来たと言っています(126 節)。

それは、人々が神の御言葉に効力がないと思っていたからです。

これは、まさに今の世界で起こっていることです。

多くの国々、民が、聖書の神とその御言葉を拒否しています。

ですから、神はこの世界の国々、民を裁こうとしておられるのです。

イエスの再臨までの間は、誰にとっても祝福された時ではありません。

もちろん、神が裁きを行われると知っている、イエスを信じるまことの信者は別です。どんなに不公平なことがあっても、神は最終的にこれらの人々を裁き、天で永遠に私たちを祝福してくださるのです。

著者は 127 節で、金よりも神の御言葉を愛していると言っています。

金では救いは買えず、金では彼の幸せは買えませんでした。

しかし、神の御言葉は永遠であり、救いへの光を与え、神の御言葉を信じる者の人生に平和と幸福を与えてくれました。

今の私たちにとっての課題は「何を信頼しているのか」ということです。

イエスと神の御言葉である聖書でしょうか、それとも私たちの所有物やこの世のものでしょうか？

ヨハネ第一 2:15-17 「2:15 世をも、世にあるものをも、愛してはなりません。もしだれでも世を愛しているなら、その人のうちに御父を愛する愛はありません。2:16 すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。2:17 世と世の欲は滅び去ります。しかし、神のみこころを行う者は、いつまでもながらえます。」

2. 「ペー」:連鎖反応(鎖のようにつながる)(129-136 節)

この部分は、129 節で神の御言葉はすばらしいという宣言から始まり、136 節で傲慢な人々が神の御言葉に背くことに対する著者の涙と嘆きで終わります。

愛と憎しみ(127-128 節)、喜びと苦しみ(111、107 節)が同じ心の中に存在できるように、驚きと苦悩の涙の重荷も、一つの心の中に存在しえるのです。

神の創造物の美しさ、聖書の神の御言葉の美しさを見るならば、罪の醜さも理解できるようになります。

そして、神の外にある世界が提供するものは、神の美しさに比べれば取るに足りない、何でもないものだと気づきます。

この節では、著者の心の中の霊的な連鎖反応が描かれています。

それはまた、私たち自身の心の中にも起こりうる反応です。

次が、著者の心の連鎖反応です。

神への驚嘆の念は従順をもたらす(129 節)

従順へとつながる神の御言葉への驚嘆からこの連鎖が始まります。

著者は、神の御言葉があまりにすばらしいので、その教えに従わなければならないことを発見したと述べています。

実は、聖書は一冊の本ですが、66 冊の本の集合体でもあります。

聖書は 15,000 年、40 世代にわたって書かれました。

また様々な人生を送った 40 人以上の著者によって書かれています。

その中には、王、農民、哲学者、漁師、詩人、政治家、学者などが含まれています。

聖書は、さまざまな場所、さまざまな時代、そしてアジア、アフリカ、ヨーロッパの三つの大陸で書かれました。

またヘブライ語、アラム語、ギリシャ語の 3 つの言語で書かれています。

過去、現在、未来のすべての世代のための、人生におけるあらゆるトピックを網羅しています。

それであって、思想と思いに絶対的な統一性があります。

その理由は、聖書の著者が神ご自身であったからです。(2 テモテ 3 : 16)

神はすべての著者に影響を与え、神が伝えたいことを記録するようにされたのです。

聖書はその古さにもかかわらず、1947 年にイスラエルの洞窟で発見されたイエス・キリストが生きた時代から 100 年後の写本は、イエスが生きた時代から 900 年後である現在の最古の写本と同じものでした。

神のすばらしさは聖書の中に明らかにされており、それをしっかりと心と思いに刻み込んだ時、従順こそが前進のための唯一の道となるのです。

あなたの人生で神への従順さが欠けているとしたら、心の中で神の御言葉についての理解が欠けているからです！

従順は理解をもたらす(130 節)

次の鎖のつながりです。神の御言葉は、私たちがその教えに従うとき、開かれます。それは霊的な光と理解をもたらすのです。

私のような無学な人間でも、神の御言葉によって理解を得ることができるのです。

理解は、神をもっと知りたいという深い欲求をもたらす(131 節)

著者はここで、のどが渇いた人が水を求めてあえぐように、神の子も霊的な食物を求めて渇くのだと言っています。

ヨブ 23:12 「23:12 私は神のくちびるの命令から離れず、私の定めよりも、御口のことばをたくわえた。」

現代の私たちの問題は、霊的な食物への欲求が失われ、世が提供する代用品に対して弱くなることです。

これらの代用品が私たちの魂を満足させることはありません。

(イザヤ書 55 章 1-2 節参照)。

神をもっと知りたいという深い欲求は、神へのまことの愛をもたらす(132 節)

神の御言葉を愛することは、神を愛することと同じです。神の御言葉は、神のすべてを明らかにしているからです。

ヨハネ 14:21 「14:21 わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現します。」

神への愛は、導きと自由をもたらす (133-134 節)

私たちが神の愛を心で経験するとき、私たちは神の戒めを守ります。

ヨハネ 14:15 「14:15 もしあなたがたがわたしを愛するなら、あなたがたはわたしの戒めを守るはずです。」

そして、主の戒めへの従順は、私たちが罪の奴隷から解放します。

(ローマ人への手紙 6 章)

133 節を見ると、英語の NKJV 訳では著者が「咎が私を支配することのないように」と述べています。

クリスチャンでない人は、自分の人生は自分でコントロールできると考え、自分の好きなように行動します。

しかし、事実はその逆です。実はサタンと罪に支配されているのです。

それに気づかなくても、それが事実なのです。

しかし、クリスチャンになると、私たちは罪とサタンの力から解放され、イエスと神の御言葉に自由に従うことができるようになるのです。

自分の心とたましいを祝福するような正しいことを自由に行うことができます。

そして、神の御言葉によって導かれ、創造主に仕える大きな自由を手に入れるのです。

キリストにある自由は、神の祝福をもたらす(135-136 節)

これが連鎖の最後の部分です。

135 節で著者は、御顔を照り輝かせてくださいと神にお願いしています。

聖書は、神が御自分の民から御顔を隠されるときは、神が彼らを懲らしめられるときであると教えています。

詩篇 13:1 「13:1 【主】よ。いつまでですか。あなたは私を永久にお忘れになるのですか。いつまで御顔を私からお隠しになるのですか。」

詩篇 80:3-7 「80:3 神よ。私たちをもとに返し、御顔を照り輝かせてください。そうすれば、私たちは救われます。80:4 万軍の神、【主】よ。いつまで、あなたの民の祈りに怒りを燃やしておられるのでしょうか。80:5 あなたは彼らに涙のパンを食べさせ、あふれる涙を飲ませられました。80:6 あなたは、私たちを隣人らの争いの的とし、私たちの敵は敵で、私たちをあざけています。80:7 万軍の神よ。私たちをもとに返し、御顔を照り輝かせてください。そうすれば、私たちは救われます。」

しかし、神の顔が輝いていることは、神の祝福のしるしです。
民数記 6:24-26 (祭司の祝福) 「6:24 『【主】があなたを祝福し、あなたを守られますように。6:25 【主】が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。6:26 【主】が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』」

神に従おうとするとき、私たちの人生には神からの大きな祝福がありますが、重荷もあります。

詩篇の著者は、この重荷を生々しい言葉でこのように表現しています。

「私の目から涙が川のように流れます。彼らがあなたのみおしえを守らないからです」
自分の人生で祝福を知ることができても、失われた人々、特に家族や、よく知っている人々のために重荷を負うことがあります。

イエスを知らない人たちと家族として暮らすことは、難しいことです。

日本では、クリスチャンでもイエスを知らない両親や妻、夫がいる人が多いことを私も知っています。

この重荷は、彼らが失われた永遠へと向かっていることを思う時、私たちの涙を誘うものです。

しかし、詩篇 126 篇 6 節にあるように、身近な家族であろうとなかろうと、失われたたましいのために泣くときに希望を与えられることは励ましです。

1987年の聖書学院での私の卒業式で、ヴァーナ・ライト教授が詩篇 126 篇について説教されたことが忘れられません。その時、私は失われたたましいが救われることを心から願いつつも、あまりそのために泣いた経験がなかったことを覚えています。しかし、その数ヵ月後、私は他の二人のクリスチャンと一緒に近くの町での伝道活動に携わりました。

その夜、私は説教をすることになり、その準備をしていたのですが、毎晩その伝道活動に通っている二人の失われたたましいを思うと、心に重荷がのしかかり、涙が止まりませんでした。

彼らは人生の大半を教会で過ごしてきたため、自分たちはクリスチャンだと考えていました。良い人たちだったのです。

川のように流れる涙を流しただけでなく、私はなんと自分の知らない歌を歌い始めました。その歌は、"Be in time (遅れるなかれ)"という歌でした。

それは知らない曲、聞いたことのない曲で、なぜ自分がこの曲を歌っているのか理解できませんでした。

フェイスミッションの古い歌集でその歌を調べてみると、その歌がそこにあることがわかりました。

サビの部分はこのような感じです。

*遅れるなかれ、遅れるなかれ、
イエスの声が呼ばわるうちに、遅れるなかれ
罪のうちにとどまれば*

開かれた門は見つかるまい
叫び求めても遅かろう
遅れるなかれ

私はこの歌を閉会の歌として選んだのですが、そのとき、川のような涙を流している婦人がいることに気づきました。

その夜、彼女はイエスに信仰と信頼を置き、神との間に平和を見出しました。後で知ったことですが、彼女が幼い頃に、父親がこの歌をよく歌ってくれたのだそうです。父親は幼い娘に「遅れるなかれ」と歌っていたのです。実を結ぶのに約 60 年かかりましたが、神はこの女性を救われ、この歌を用いられました。

その約 10 分後、彼女のご主人もイエスを信じました。

その時、私はその場にいましたが、彼が祈った後、彼の顔は本当にイエスの美しさで輝いていました。

皆さん、励ましを受けてください。もし失われたたましいへの重荷を感じているなら、聖霊からの涙に任せてみてください。そしていつの日か、失われた人々の救いを喜ぶことでしょう。

もしかしたら今日、インターネットや OIC でこの礼拝を見ているあなたは、クリスチャンではないかもしれません。

この歌になぞらえてこう言いましょ。

「遅れるなかれ、イエスに信仰と信頼を「今」置こう。イエスの声が呼ばわるうちに。遅れるなかれ!」

3. ヘブライ語文字「ツァディ」神にあつて信頼する(137-144 節)

1864 年、アメリカの 2 セント硬貨に「In God we trust(神にあつて信頼する)」の文字が初めて登場しました。南北戦争の結果です。

その後、この言葉は他の硬貨や紙幣にも使われるようになりました。

そして、この言葉はアメリカのスローガンとして採用されました。

しかし、今のアメリカはそうではありません。

アメリカのほとんどの指導者は、神を押し退け、神を無視した法律を持ち込んで、罪を美化しようとしています。

しかし、神を信じる私たちは、決して失望することなく、恥をかくこともありません。私たちは神を信頼しているのです。

このセクションの主要メッセージは、神と神の御言葉は信頼するに足りるということです。

聖書は、神の御霊が神の御言葉を用いて、私たちの心に信仰を植え付けると教えています。

ローマ 10:17 「10:17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」

神の御言葉を読み、従えば従うほど、私たちの信仰は強くなります。

信仰を持たない人もいます。- マルコ 4:40

ある人々は、わずかな信仰しか持っていません。- マタイ 8:26、14:31

大きな信仰を持っている人はわずかです。- マタイ 8:10、15:28。

からし種のように、信仰にはいのちがあります。(からし種は最も小さい種)

それを植えて育てれば、大きくなって実を結びます。- マタイ 17:20

このセクションのメッセージは、神の御言葉に信仰を持てるよう励ましてくれています。著者は、神の御言葉に信仰を持つ四つの理由をあげています。

人々が何をしようと何を言おうと、神の御言葉は信頼に足るものである(137-141 節)

139 節では、著者が人々に神の御言葉を信頼するように説得するのに疲れ果ててしまったとあります。

しかし、人々は著者を無視し、また神の御言葉も無視しました。

著者は、自分自身は御言葉に忠実であったにもかかわらず、自分の働きが失敗したと感じたのでしょう。

どんなに多くの人が神の言葉を攻撃し、現代には関係ないと言い張ろうとも、神の言葉は信頼に足るものなのです。

イギリスの作家ブライアン・エドワーズは、その著書『Grace – Amazing Grace(グレイス-驚くべき恩寵:仮題)』の中で、旧約聖書の 1 章に現代人の生活への指針がどれほど詰まっているか、驚くべき例を示しています。

申命記第 22 章は、失った財産、隣人への振る舞い、異性装、自然環境、健康と安全、農業、園芸、結婚関係、姦通、レイプについて扱っています。聖書全体から見ると、人生で遭遇することの中で、聖書が教えていないことはなく、どんな時代でもこの世を生きていく上で役に立つアドバイスを与えています。そうです、他の誰もが聖書を信頼していない時でさえも私たちは聖書を信頼することができるのです。

自分がどう感じようと、神の御言葉は信頼に足るものである(142 – 143)。

私たちは皆、感情を持っています。仕事や家庭生活がうまくいかないとき、落ち込むこともあるでしょう。また、ある時は、人生においてとても良いことが起きて嬉しさや喜びを感じるかもしれません。

私たちの感情は、その時々状況に応じて変化します。

しかし、神の御言葉をどう思うのかを、自分の感情で左右させるべきではありません。私たちの感情は変わるかもしれませんが、神様の御言葉は決して変わりません。著者は、悩みや苦悩が自分を覆っているにもかかわらず、神の御言葉を喜んでいると言っています。

英語の NLT 訳ではこのように表現しています。

「圧力とストレスとが私に襲いかかっています。しかしあなたの仰せは、私の喜びです。」

日本には、非常にストレスの多い仕事をし、非常にストレスの多い生活を送っている人がいます。中には家庭環境にストレスを抱える人もいますが、著者はそれでも神の御言葉が喜びを与えていると言っています。

それは、喜びが人生の状況にではなく、心の状態に左右されるものだからです。

どのくらい生きようと、神の御言葉は信頼に足りるものである(144 節)

あるクリスチャンが「大切なのは人生の長さではなく、人生の深さである」と言っていました。

短い人生でも、その生涯の間に大きな深みと質を持つことができるのです。

レディ・ジェーン・グレイは 16 歳という若さで亡くなりました。(1557 年 – 1554 年)彼女はイングランドの九日間の女王としても知られています。

彼女は、若くしてラテン語とギリシャ語を学び、聖書の驚くべき研究者でした。

1554年2月12日、彼女の夫はプロテスタントの信仰を持つという理由だけで、斬首刑に処されました。

夫の遺体が運び出されるのを見たレディ・ジェーン・グレイは、次のような言葉を残しました。

「ああ、ギルフォード、ギルフォード.....あなたと私が今日、パラダイスで味わうごちそうに比べたら、こんなことは何でもないのでよ。」

レディ・ジェーン・グレイは処刑される前、見物人に向かって次のような言葉を残しました。

「私は、神の慈悲であるひとり子イエス・キリストの血によってのみ救われることを望みます」。

これは400年以上前のイングランドでの出来事ですが、この若い女性のいのちは天において永遠です。

神がどのような人生を与えようとも、短くても、長くても、自分のためではなく、神の栄光のために生きなければなりません。

私たちが生きようと死のうと、神の御言葉は天において永遠なのです。

イエスの生涯も比較的短いものでした。この地上では33年間を過ごされました。

実際のミニストリーの働きはわずか3年間でした。

しかし、イエスは永遠なる御業を成し遂げました。

あなたは、イエスを自分の救い主として知り、愛していますか？

もしそうなら、毎日神の御言葉で満たされれば、祝福されるでしょう。

もしあなたがまだイエスを個人的に知らないのなら、今日こそイエスに会うべきです。もしイエスのもとに来るなら、イエスはあなたを追い払うことはありません。

しかし、あなたがイエスのもとに来て、自分の罪を認め、イエスの赦しを請わなければなりません。

イエスはあなたの心を、そして私の心をご存知です。あなたの人生に起こったことをすべてご存知です。それにもかかわらず、イエスは今日、あなたがイエスのみもとに来ることを望んでおられます。

今日、イエスのみもとに行きますか？

アーメン。